

第31回愛媛県消防操法
 今治・越智地区大会日程

■日時 6月24日(日)午前9時～
 予備日7月1日(日)、8日(日)
 ■場所 今治市宮窪町
 石文化運動公園
 ※天候により順延する可能性があります。

6月は
 「土砂災害防止月間」

毎年、6月1日～30日は「土砂災害防止月間」です。
 土砂災害防止月間を機に、自分の地域の危険な場所を確認するなど、積極的に事前の防災対策をしておきましょう

雨が降る前に備える

●家の周りの点検
 雨どいや側溝の落ち葉や土砂などを取り除き、家の周辺の水はけをよくしておき、雨水の流れをせき止めないようにしましょう。

雨が降ってきたら

●雨の降り方に注意を
 雨が強くなってきたら、「土砂災害警戒情報」に注意しましょう。土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、都道府県と気象庁がホームページやテレビラジオで発表する防災情報です。
 ●早めに避難する
 土砂災害警戒情報が発表されたら、雨の状況に注意し、危険を感じたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。

平成30年4月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	合計	H30累計
火災	0	0	0	0	0	1
救急	15	10	8	3	36	164

(平成30年4月30日現在)

【上島町消防署】☎77-4118

平成30年全国統一防火標語
 「忘れてない? サイフにスマホに火の確認」

5月13日(日)、上島町消防庁舎において、平成30年度上島町消防団夏季幹部講習会が開催され、6月に今治市で実施される消防操法地区大会に備え実技講習が行われました。
 当日は雨天により消防車庫内での実施となりましたが、講習会では、小型ポンプ操法とポンプ車操法について、操法上の注意点を消防職員が実演を交えながら説明を行いました。

夏季幹部講習会を開催

上島町消防団



参加した操法選手をはじめとする団員の皆さんは熱心に受講されており、大会での好成績が期待されます。
 なお、大会の日程は左のとおりですので、町民の皆様も是非ご参観下さい。



操法要領説明状況



池上幸大 消防副士長

救急救命士誕生!

上島町消防署に新たに救急救命士が誕生しましたので紹介します。

【今後の抱負】
 7ヶ月の救急救命士研修を終え、国家試験に合格し、救急救命士として活動することになりました。近年、救命処置が拡大されたことに伴い、救急現場において適切な処置や判断が今まで以上に求められています。
 今後も習得した知識・技術の更なる向上に励み、温かい人間愛と思いやりの心を持って接することを心がけていきます。町民の皆様から信頼されるような「優しい救急救命士」を目指し精進して参りますので宜しくお願いいたします。



苗木は手をかければかかるほど早く成長します。特に植えた1年目の管理は大変重要です。今回はかんきつ苗木の夏期管理のポイントについて解説します。

1 かんきつ苗木の生育

かんきつ類は3月下旬に植え付けて4月中旬ころから発芽を始めます。これを春芽といい、6月にかけて枝葉を伸ばします。

この春芽の枝・葉が硬く充実してくると、梅雨頃から(7月上旬)夏芽が出始めます。かんきつ類の多くは頂芽優勢といって枝先の芽が最も伸びる性質があります。充実した夏芽を伸ばすことが早く樹形を作ることになります。

2 苗木の管理

① かん水

苗木の管理で最も重要なのがかん水です。苗木は根が浅く少ないため乾燥に弱く、こまめに灌水しないとすぐ弱ってしまいます。地面からの蒸散と雑草の発生を抑えるためにマルチや敷き草をしましょう。

② 施肥管理

施肥は定植約1ヵ月後



マルチで乾燥防止と防草

苗木では9月頃から秋芽が出てきます。気温が下がりはじめると時期に出るため充実が悪いですが1枚でも多くの葉をつけることは苗木の生育には良いことです。

③ 病害虫防除

せっかく発芽してきた芽にミカンハモグリガ(エカキムシ)が付いてしまうと芽の伸びが悪くなり、かいう病の発生原因になってしまいます。しっかりと防除しましょう。

今年植えた苗木では、夏芽発生前の6月上旬にエクシレルSE100倍を1樹あたり30ml散布します。1本あたり薬量が少ないので、ハンドスプレーで散布すれば便利です。アクタラ粒剤5を一樹当たり20g株元散布しても効果があります。2年生以上の苗木では大きくなった分薬量を増やします。(エクシレルSEは1樹当たり500mlまで。アクタラ



今年から成らせ始める若木 (愛媛果試第28号)

(5月上旬)に株の周りに1本当たりファイトでは約90g、高度化成肥料では約50gを施用します。以後1ヶ月半ごとに11月上旬まで施用します。
 また、発芽が始まる頃から約10日おきに噴霧器による液肥の葉面散布を行うと葉が充実します。専用液肥では800倍程度、尿素では500倍で散布します。
 せっかく発芽してきた芽にミカンハモグリガ(エカキムシ)が付いてしまうと芽の伸びが悪くなり、かいう病の発生原因になってしまいます。しっかりと防除しましょう。
 また、かいう病の防除に、6月中旬にICボルドー66D80倍を散布します。

④ その他管理

主枝3本を決め、強めに切り返してしっかりと伸ばしましょう。

台風などの強風に備え支柱で苗木を支え、新芽が同じところから数本出てきた時には1〜2本に芽かきして枝を充実させましょう。
 また、除草をこまめに行い、雑草で苗木が隠れることのないようにしましょう。

3 果実を成らせる目安

果実を成らせ始めるのは、植えてから約2年の年数よりも着葉数で判断を下さい。1本で1千枚以上の葉が着けば、中間より下の枝に果実を着けることができます。無理な着果は樹の生育を著しく遅らせてしまいます。

